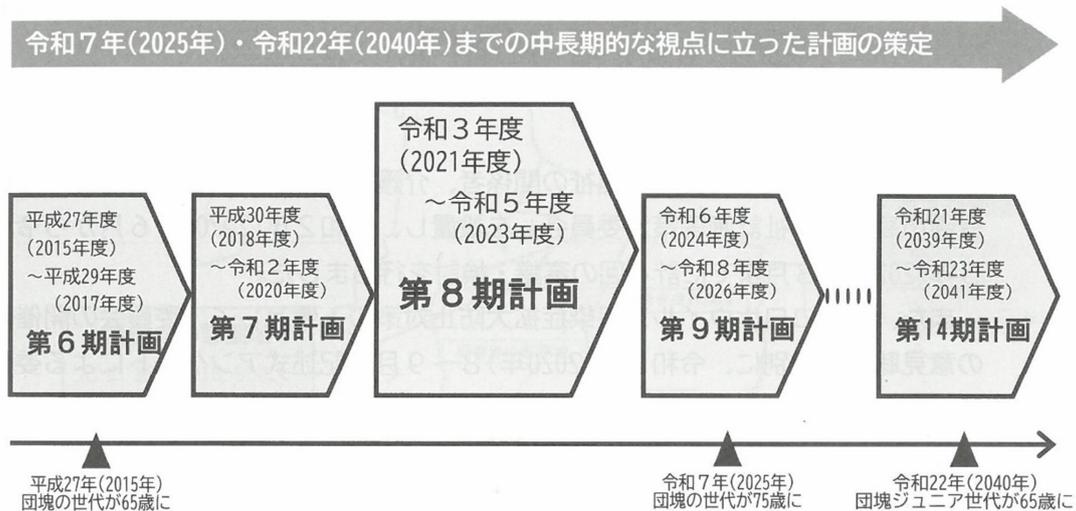


## 第8期介護保険事業計画の進捗状況について — 給付実績・被保険者数・認定者数 —

介護保険事業計画は、介護保険法に基づき市が策定する介護保険の保険給付を円滑に実施するための計画です。各年度における種類ごとのサービス見込み、各年度における必要総数等を設定し、計画に基づき介護保険料が設定されています。観音寺市でも3年を1期として介護保険事業計画が策定されており、令和5年度は、第8期計画の最終年度でした。

### ◆計画の期間



毎年度、計画策定時に描いた各年度ごとの計画値と実績値とを照合し、乖離のある項目について、確認し、その要因を考察しています。その考察を踏まえて対応策を検討し、次期介護保険事業計画へ反映し、必要な見直しを行います。

次ページ以降の青色の吹き出しは、「令和5年度 総括表（対計画比）」において示されているそれぞれの吹き出しに対応しています。

## 第8期観音寺市介護保険事業計画 計画値と実績値のモニタリング（令和5年度分）

－計画値と実績値で乖離（概ね80%未満または110%超）のある項目についての分析及び説明

1

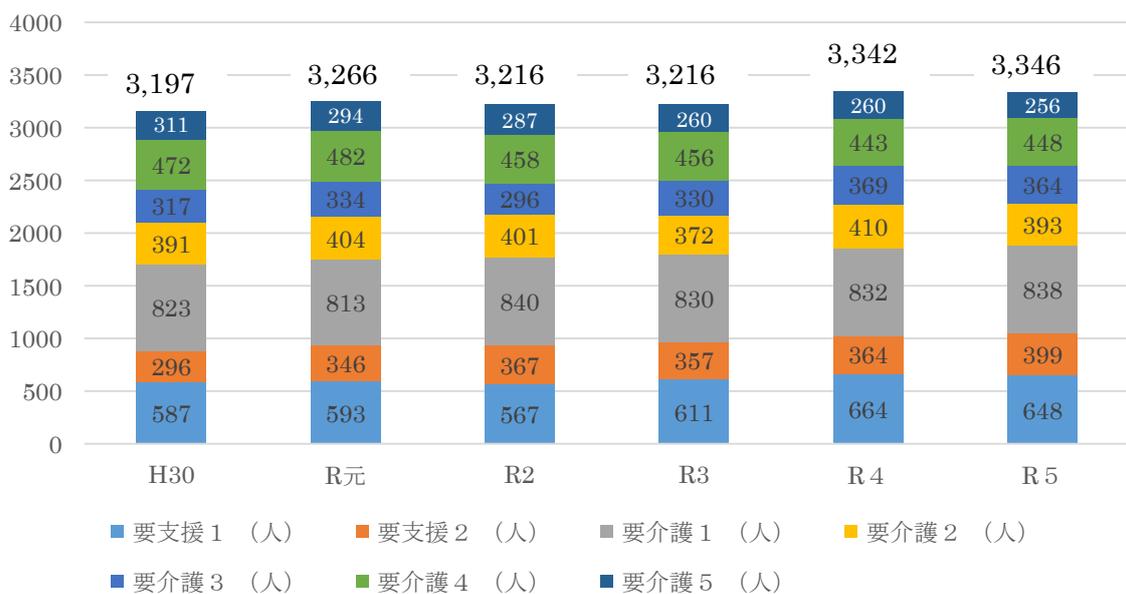
第1号被保険者・要介護等認定者数（第1号被保険者）の推移

### ア. 総括表

第1号被保険者数は令和5年9月末現在19,476人で、平成30年9月末と比べて175人減少していますが、要介護等認定者数は149人増加しています。「要支援1」と「要介護3」で実績値が計画値を上回っていますが全体としては概ね計画値どおりです。

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
第1号被保険者数（人）	19,651	19,590	19,613	19,573	19,549	19,476
前期高齢者（人）	9,250	9,118	9,200	9,209	8,868	8,470
後期高齢者（人）	10,401	10,472	10,413	10,364	10,681	11,006
要介護認定者数（人）	3,197	3,266	3,216	3,216	3,342	3,346
要支援1（人）	587	593	567	611	664	648
要支援2（人）	296	346	367	357	364	399
要介護1（人）	823	813	840	830	832	838
要介護2（人）	391	404	401	372	410	393
要介護3（人）	317	334	296	330	369	364
要介護4（人）	472	482	458	456	443	448
要介護5（人）	311	294	287	260	260	256
要介護認定率（%）	16.3	16.7	16.4	16.4	17.1	17.2

要介護認定者の推移（第1号被保険者）



## 2

## 介護医療院

## イ. 年間延べ利用者数

## オ. 給付費

介護医療院は、介護療養型医療施設の新たな転換先として示された日常的な医学的管理や看取り・ターミナルケア等医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。長期療養のための医療ケアが必要な要介護者に対して、看護、医学的な管理の下における介護、機能訓練、その他日常生活上の支援を行うサービスです。

市内にある介護療養型医療施設も当初令和5年3月末までに介護医療院へ転換予定でしたが、実際には令和6年2月に転換したため、想定より年間延べ利用者数や給付費が少なくなつたと考えられます。

## 3

## 訪問リハビリテーション

## イ. 年間延べ利用者数

## オ. 給付費

訪問リハビリテーションは、通院が困難な利用者に対して、理学療法士や作業療法士等が居宅を訪問し、心身の機能回復を図るために必要なリハビリテーションを行うサービスです。

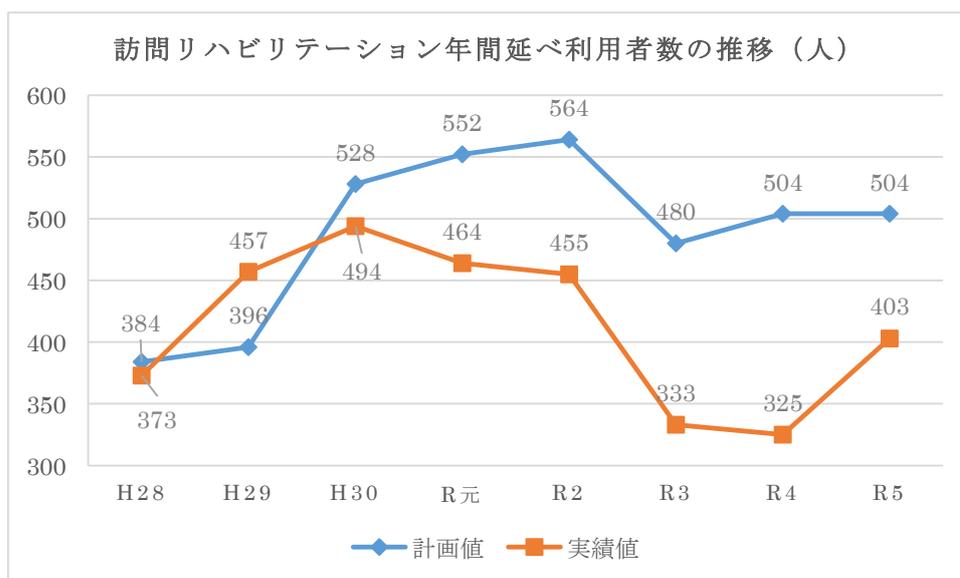
平成30年までは実績値が増加していましたが、令和元年度以降の実績値は減少しています。令和4年度の年間延べ利用者数は325人で平成30年度の494人と比べて169人減少しています。この主な要因として考えられるのは、サービスの必要性が不明確な給付がみられたため、令和元年度途中から利用受付票にてケアプラン点検を強化し、その結果、適正な利用が促されたものと考えられます。一定の効果がみられたため、令和5年3月で利用受付票によるケアプラン点検は一旦終了しています。令和4年度までは、年間延べ利用者数は減少し、給付費も減少していましたが、令和5年度は増加しています。

## 訪問リハビリテーション年間延べ利用者数の推移

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値(人)	384	396	528	552	564	480	504	504
実績値(人)	373	457	494	464	455	333	325	403
対計画比(%)	97	115	94	84	81	69	64	80

## 訪問リハビリテーション給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値(円)	23,517,000	24,626,000	25,059,000	22,541,000	23,677,000	23,677,000
実績値(円)	22,032,426	20,657,350	18,374,531	14,872,037	12,705,632	15,404,610
対計画比(%)	94	84	73	66	54	65



**ウ. 1人1月あたりの利用回数** **エ. 受給者1人あたりの給付費**

令和5年度の1人1月あたりの利用回数、受給者1人あたり給付費については、増加はみられません。訪問リハビリテーションは母体となる利用者数が少ないことから、少し利用者数が増えただけでも、実績値に大きく影響します。令和5年度の利用者数、給付費の増加の要因は、利用受付票の終了による可能性が高いと思われますが、利用状況については継続したモニタリングが必要です。

訪問リハビリテーション利用者1人1月あたりの利用回数の推移

		H30	R元	R2	R3	R4	R5
要支援者	計画値（回）	13.0	13.0	13.0	15.6	16.1	16.1
	実績値（回）	13.8	15.6	13.7	14.1	10.9	10.3
	対計画比（%）	106	120	105	91	68	64
要介護者	計画値（回）	15.4	15.4	15.3	15.9	15.8	15.8
	実績値（回）	14.4	15.1	14.0	15.1	13.5	13.6
	対計画比（%）	94	98	91	95	85	86

訪問リハビリテーション受給者1人あたりの給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（円）	44,540	44,612	44,431	46,960	46,978	46,978
実績値（円）	44,600	44,520	40,384	44,661	39,094	38,225
対計画比（%）	100	100	91	95	83	81

## 4

## 通所リハビリテーション

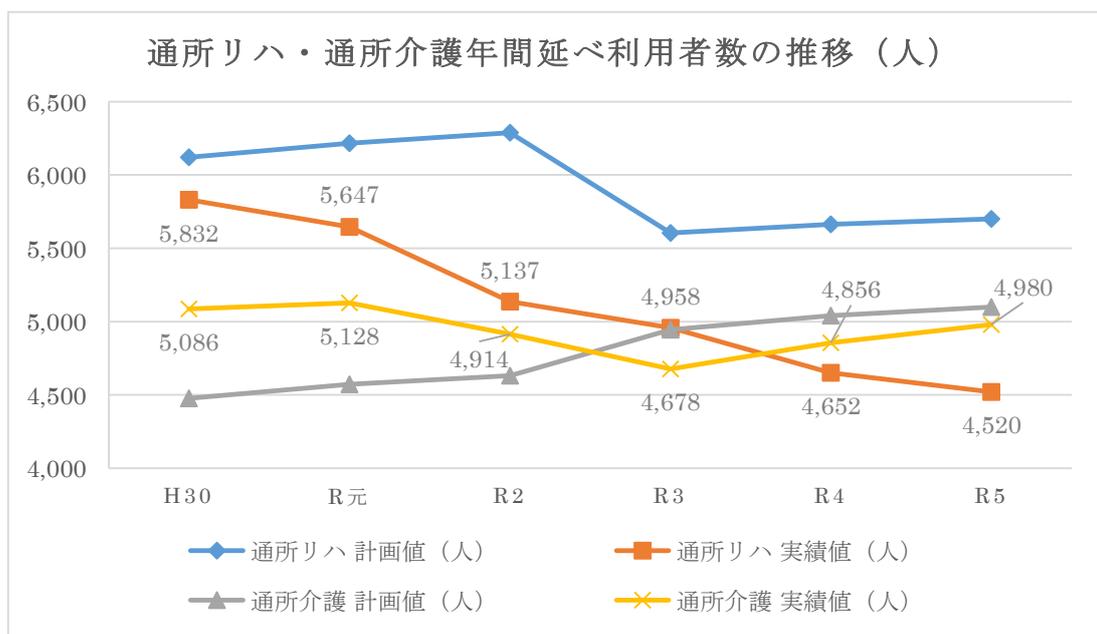
## イ. 年間延べ利用者数

通所リハビリテーションは、介護老人保健施設や病院、診療所への通所により、心身の機能の維持回復のために理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。

通所リハビリテーションについては、実績値が計画値を下回り、年々利用者数も減少しています。計画値との乖離も年々大きくなっています。令和2・3年度の利用者数の減少は他サービス同様、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。ただ同じ通所系サービスの通所介護では、新型コロナウイルス感染症の影響下、同様に利用者数は減少していますが、4年度以降は増加しています。通所介護の利用者数が増加し、通所リハビリテーションは減少していることから、通所リハビリテーションの利用者が同じ通所系サービスの通所介護に流れた可能性が考えられます。この要因としては、市内の通所リハビリテーションは通所介護に比べて定員規模が大きく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすいことが考えられます。

## 通所リハ・通所介護年間延べ利用者数の推移

		H30	R元	R2	R3	R4	R5
通所リハ	計画値(人)	6,120	6,216	6,288	5,604	5,664	5,700
	実績値(人)	5,832	5,647	5,137	4,958	4,652	4,520
	対計画比(%)	95	91	82	88	82	79
通所介護	計画値(人)	4,476	4,572	4,632	4,944	5,040	5,100
	実績値(人)	5,086	5,128	4,914	4,678	4,856	4,980
	対計画比(%)	114	112	106	95	96	98



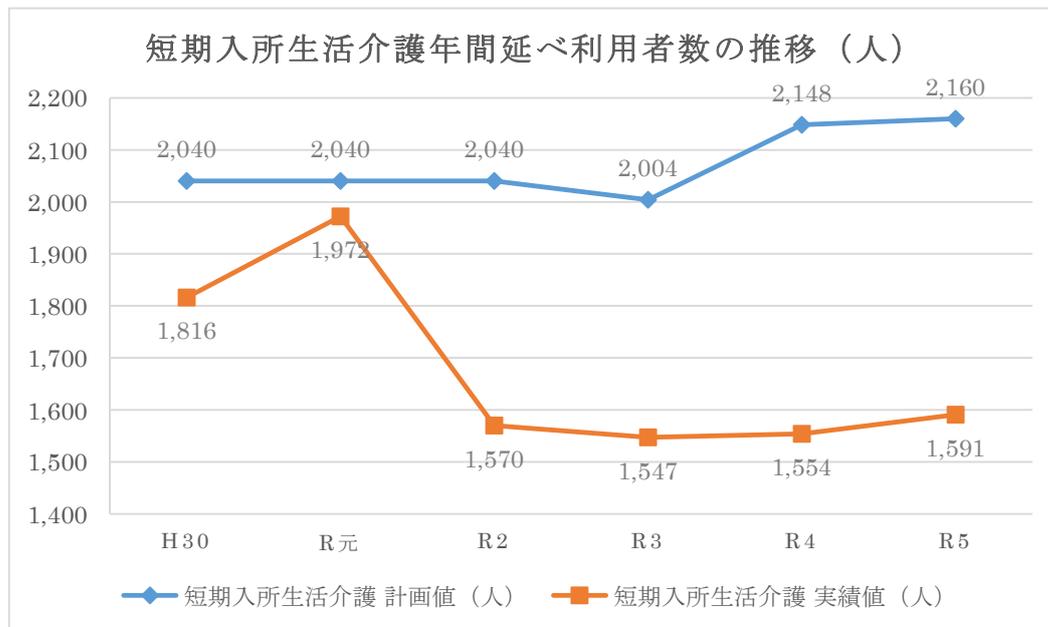
**イ. 年間延べ利用者数****エ. 受給者1人あたりの給付費****オ. 給付費**

短期入所生活介護は、介護老人福祉施設等に短期間入所している要介護（要支援者）に対して、入浴、排せつ、食事の介護等日常生活上の支援や機能訓練を行うサービスです。

令和5年度だけでなく、令和2年度以降、対計画比が低い状況です。他のサービスでも同様の傾向が見られ、新型コロナウイルス感染症による影響によるものと推察されます。短期入所生活介護は、併設の介護老人福祉施設等の入所者と同じフロアでサービスを提供している事業所が多いことから、併設の施設で新型コロナウイルス感染症の発生すると、短期入所の受入れを一定期間休止せざるを得ない状況が続いていることなどが、対計画比が低くなった要因と考えられます。また、一部の事業所では、新型コロナウイルス感染防止対策として事業者の方針で受入れ時に利用者に対して抗原検査等を求める事業所もあり、検査費の負担が利用者とその都度発生しています。新型コロナウイルス感染症対策として、自由に施設に出入りすることができないことも、利用を控える要因と思われます。

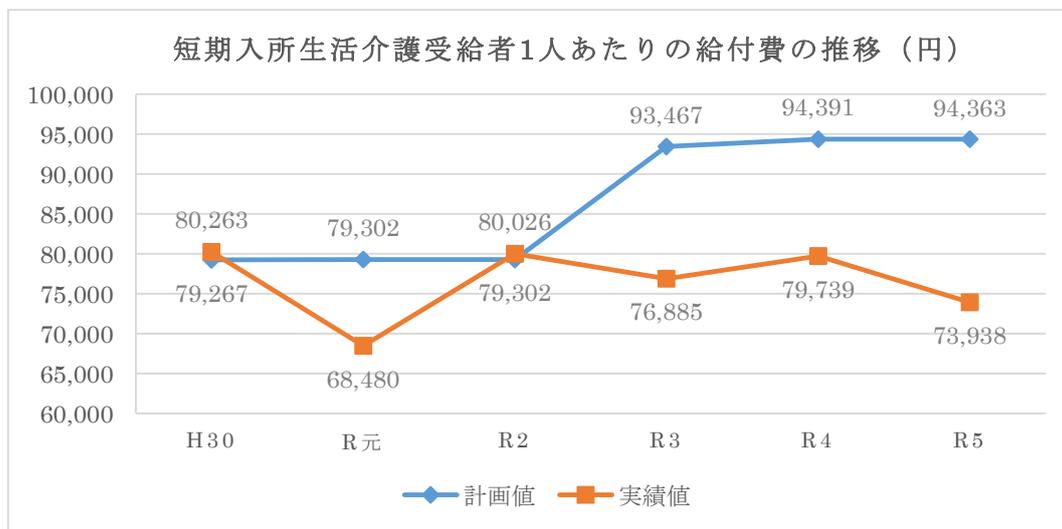
**短期入所生活介護年間延べ利用者数の推移**

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（人）	2,040	2,040	2,040	2,004	2,148	2,160
実績値（人）	1,816	1,972	1,570	1,547	1,554	1,591
対計画比（%）	89	97	77	77	72	74



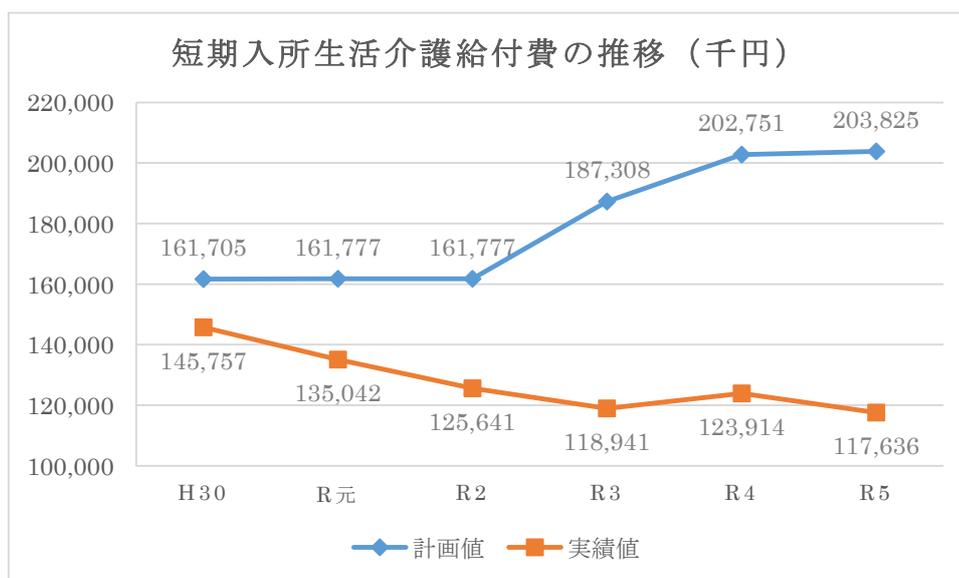
短期入所生活介護受給者1人あたりの給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値(円)	79,267	79,302	79,302	93,467	94,391	94,363
実績値(円)	80,263	68,480	80,026	76,885	79,739	73,938
対計画比(%)	101	86	101	82	84	78



短期入所生活介護給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値(円)	161,705,000	161,777,000	161,777,000	187,308,000	202,751,000	203,825,000
実績値(円)	145,757,274	135,041,759	125,640,607	118,941,074	123,914,015	117,635,908
対計画比(%)	90	83	78	64	61	58



## 6

## 認知症対応型通所介護

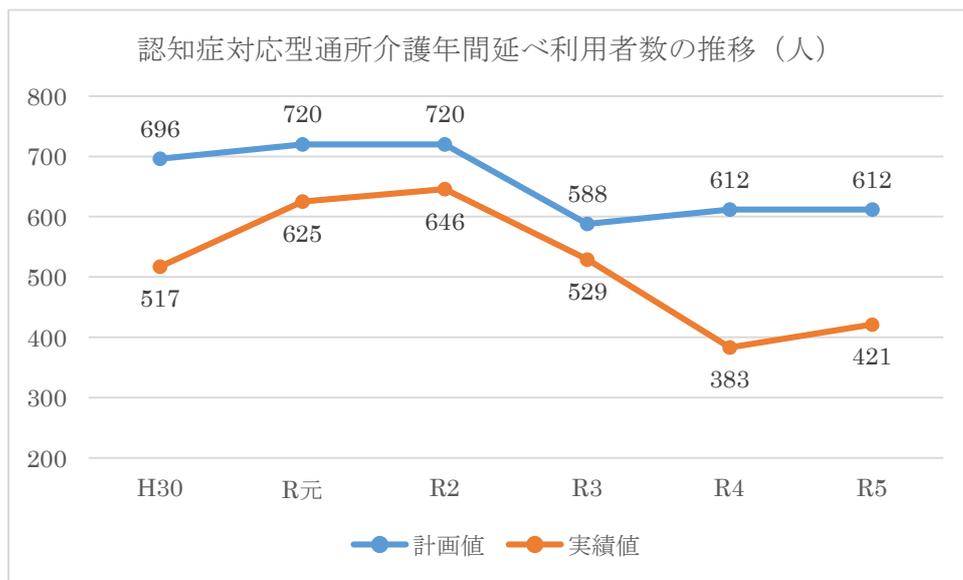
## イ. 年間延べ利用者数 オ. 給付費

認知症対応型通所介護は、認知症の要介護（要支援）者に対して提供される通所介護であり、デイサービスセンター等への通所により、入浴、排せつ、食事等の介護や日常生活上の支援、機能訓練を行うサービスです。

市内にある認知症対応型通所介護の事業所3ヶ所の内、1ヶ所の事業所が令和4年6月30日から休止（令和5年12月末で廃止）したため、年間延べ利用者数や給付費の実績値が計画値を大きく下回ったと考えられます。

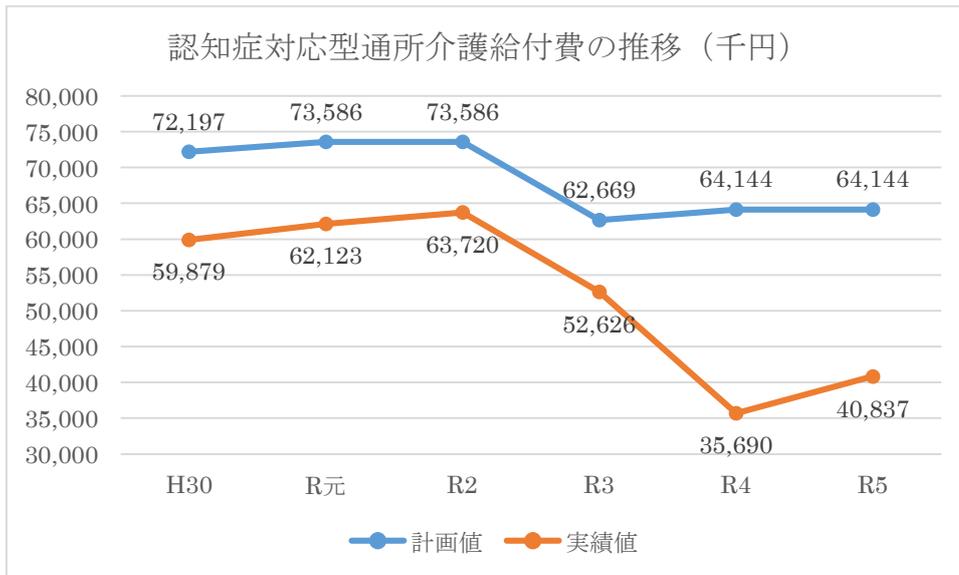
## 認知症対応型通所介護年間延べ利用者数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（人）	696	720	720	588	612	612
実績値（人）	517	625	646	529	383	421
対計画比（%）	74	87	90	90	63	69



## 認知症対応型通所介護給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（円）	72,197,000	73,586,000	73,586,000	62,669,000	64,144,000	64,144,000
実績値（円）	59,878,757	62,122,670	63,719,929	52,625,664	35,690,451	40,837,164
対計画比（%）	83	84	87	84	56	64



## 7 小規模多機能型居宅介護

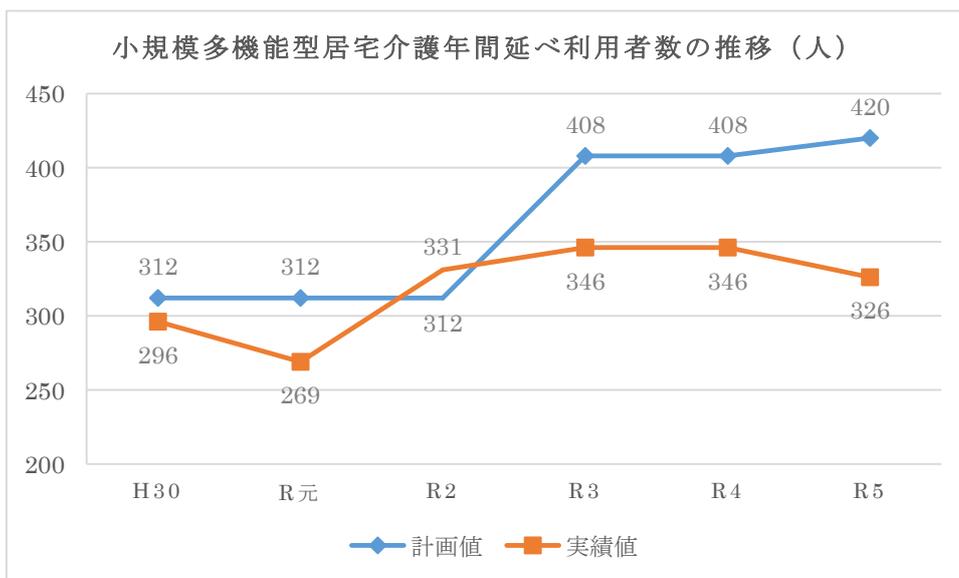
### イ. 年間延べ利用者数 才. 給付費

小規模の住宅施設で、施設への通いを中心に、居宅への訪問、短期間の宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事等の介護や機能訓練を行うサービスです。

市内では1カ所事業所があり、コロナ禍の2年度以降も実績値は増加しています。実績値については、例年と大きな差は見られませんが、令和3年度以降、計画値を増やしているため、結果として対計画比との乖離につながりました。

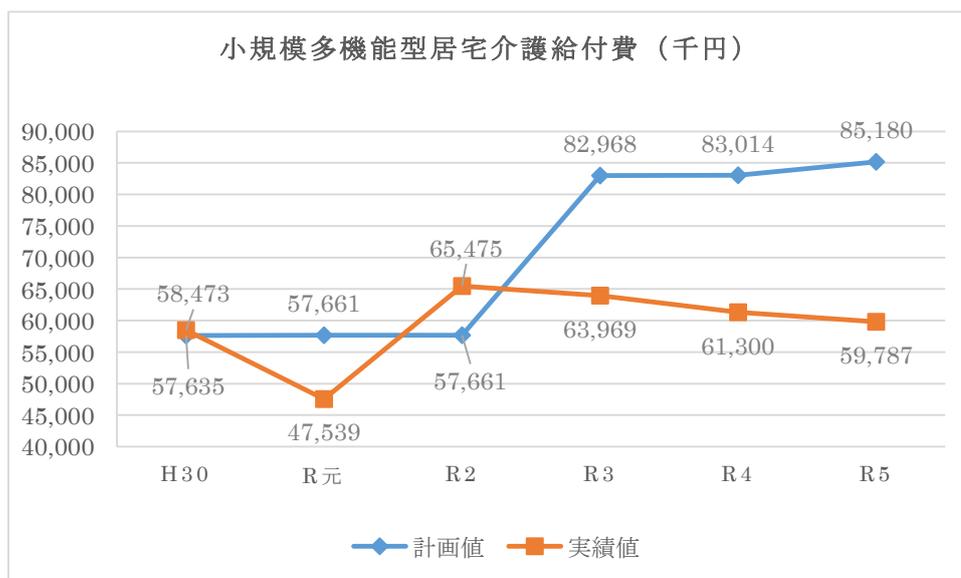
#### 小規模多機能型居宅介護年間延べ利用者数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値 (人)	312	312	312	408	408	420
実績値 (人)	296	269	331	346	346	326
対計画比 (%)	95	86	106	85	85	78



### 小規模多機能型居宅介護給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（円）	57,635,000	57,661,000	57,661,000	82,968,000	83,014,000	85,180,000
実績値（円）	58,472,581	47,539,002	65,475,459	63,968,584	61,299,732	59,787,247
対計画比（%）	101	82	114	77	74	70

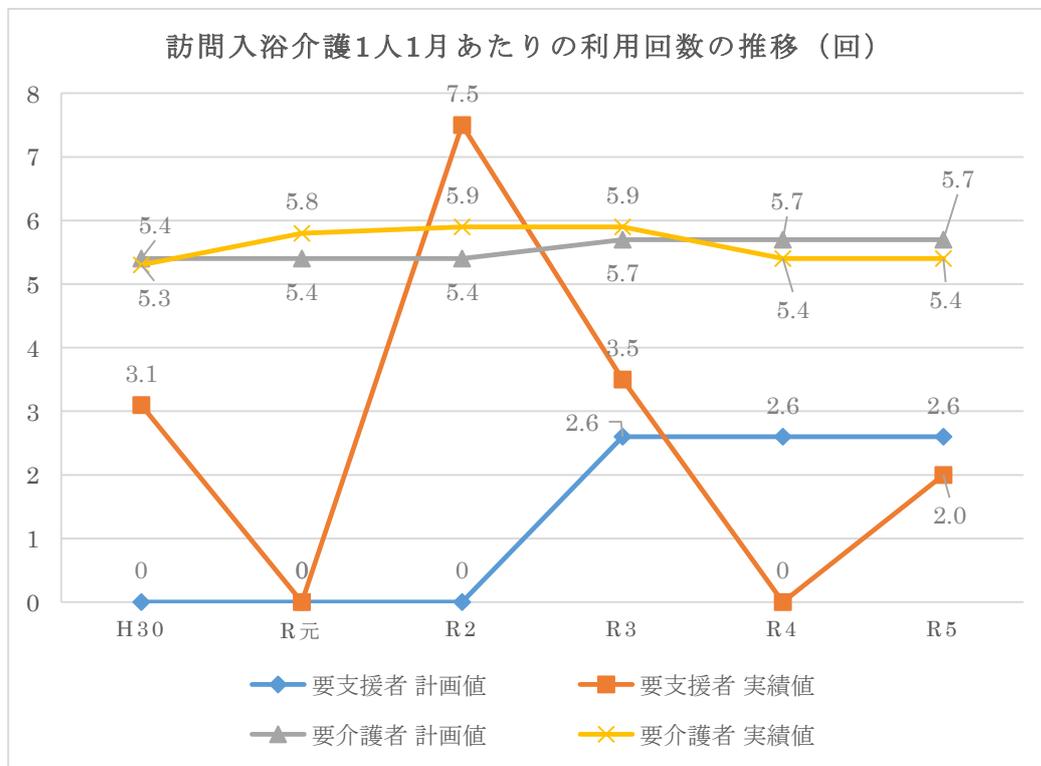


## ウ. 1人1月あたりの利用回数

訪問入浴介護は、簡易浴槽等を積んだ移動入浴車等により居宅を訪問し、入浴の介護を行うサービスです。要支援・要介護者全体での利用者数・給付費ともに計画値との乖離は目立ちませんが、要支援者の実績値が計画値を上回っています。要因として考えられるのは、母体となる利用者が少なく（要支援者で利用が想定される方は少なく、毎年1人いるかないか）、1人の利用者の利用状況の変化が、対計画比に大きな影響を与えたことが推察されます。

## 訪問入浴介護1人1月あたり利用回数の推移

		H30	R元	R2	R3	R4	R5
要支援者	計画値(回)	-	-	-	2.6	2.6	2.6
	実績値(回)	3.1	-	7.5	3.5	-	2.0
	対計画比(%)	-	-	-	135	-	77
要介護者	計画値(回)	5.4	5.4	5.4	5.7	5.7	5.7
	実績値(回)	5.3	5.8	5.9	5.9	5.4	5.4
	対計画比(%)	98	107	110	103	94	94



**ウ. 1人1月あたりの利用回数**

通院が困難な利用者に対して、病院、診療所または訪問看護ステーションの看護師が居宅を訪問し、療養上の支援や必要な診療の補助を行うサービスです。

訪問看護について、受給者1人あたりの給付費は計画値とほとんど差が見られません。しかし、1人1月あたりの利用日数・回数については、要支援者で計画値を下回り、要介護者で計画値を上回っています。訪問看護については母体となる利用者数が少ないことから、少数の利用者の要介護度や病状の変化に伴う利用状況の変化が、1人1月あたりの利用日数・回数の対計画比に影響を与えたものと推察されます。

**訪問看護1人1月あたりの利用回数の推移**

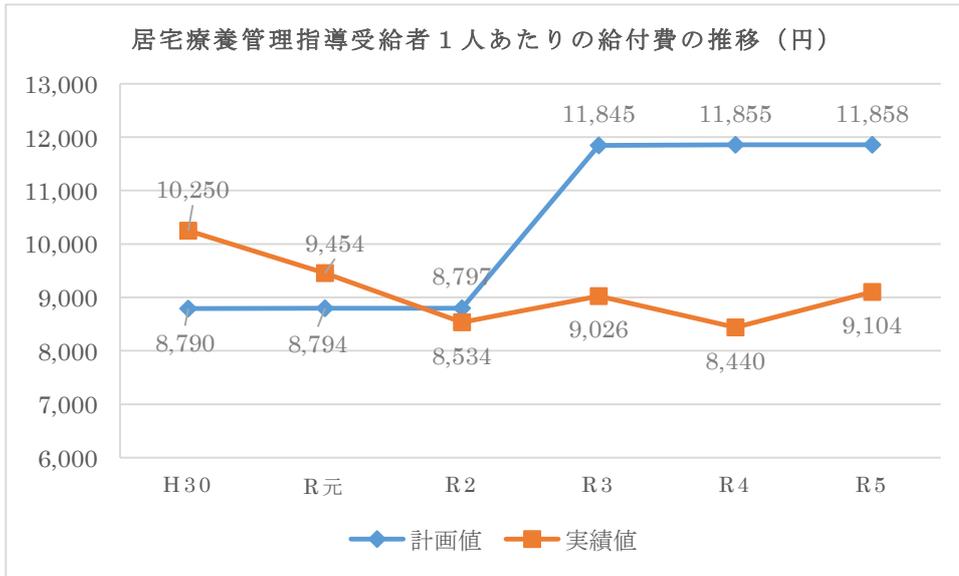
		H30	R元	R2	R3	R4	R5
要支援	計画値(回)	3.0	3.0	3.0	8.2	8.2	8.2
	実績値(回)	7.3	4.3	4.0	3.9	4.0	3.7
	対計画比(%)	245	144	135	48	49	45
要介護	計画値(回)	6.4	6.5	6.5	6.4	6.4	6.4
	実績値(回)	6.0	6.3	7.1	7.7	7.3	7.5
	対計画比(%)	93	97	110	121	115	117

**エ. 受給者1人あたりの給付費** **オ. 給付費**

通院が困難な利用者に対して、医師、歯科医師、薬剤師等が居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービスです。令和元年度頃までは、実績値が計画値を上回っていましたが、令和2年度以降計画値を下回っています。他のサービス同様、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。また、在宅での療養上の管理を必要としている人が増えること、受給者一人あたりの給付費も需要が増えることを見込み、令和3年度からの計画値を増やしているため、結果として対計画比の乖離が見られます。

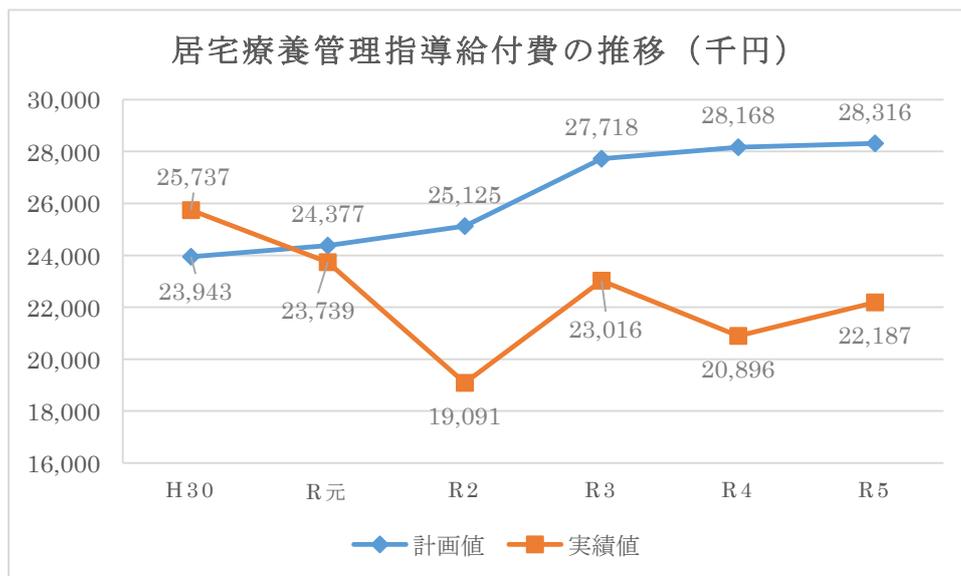
**居宅療養管理指導受給者1人あたりの給付費の推移**

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値(円)	8,790	8,794	8,797	11,845	11,855	11,858
実績値(円)	10,250	9,454	8,534	9,026	8,440	9,104
対計画比(%)	117	108	97	76	71	77



居宅療養管理指導給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値 (円)	23,943,000	24,377,000	25,125,000	27,718,000	28,168,000	28,316,000
実績値 (円)	25,736,523	23,738,925	19,090,978	23,016,169	20,896,253	22,186,964
対計画比 (%)	107	97	76	83	74	78



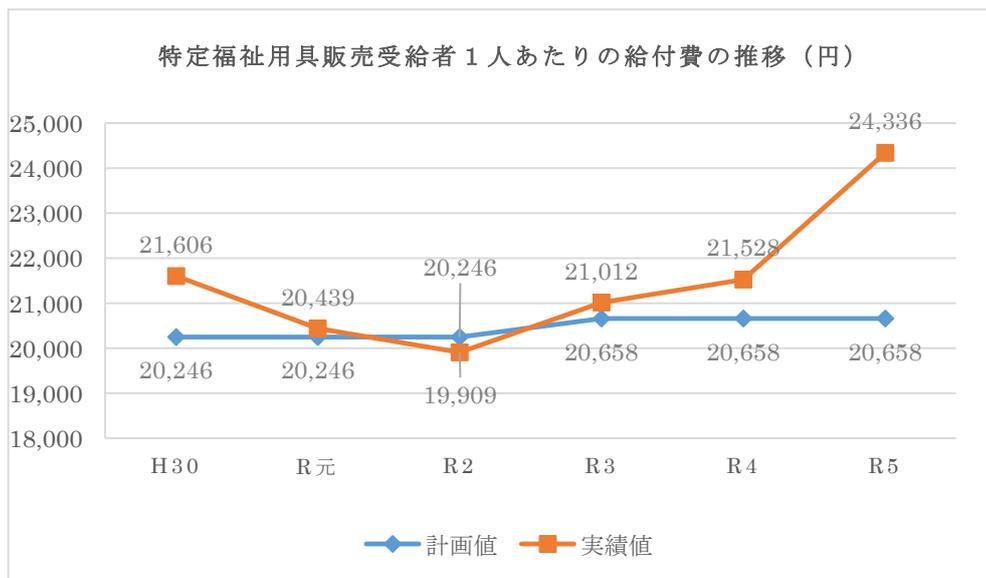
**エ. 受給者 1 人あたりの給付費** **オ. 給付費**

特定福祉用具販売は、腰掛便座や入浴補助用具等の貸与になじまない福祉用具を購入した際に、購入費の一部を支給するサービスです。

給付費もここ数年増加していますが、受給者 1 人あたりの給付費の増加が目立ちます。給付の多い商品で、ここ数年の商品価格を比較すると、毎年 1 割程度アップしています。商品の価格改定が対計画費の乖離に大きく影響していると思われます。

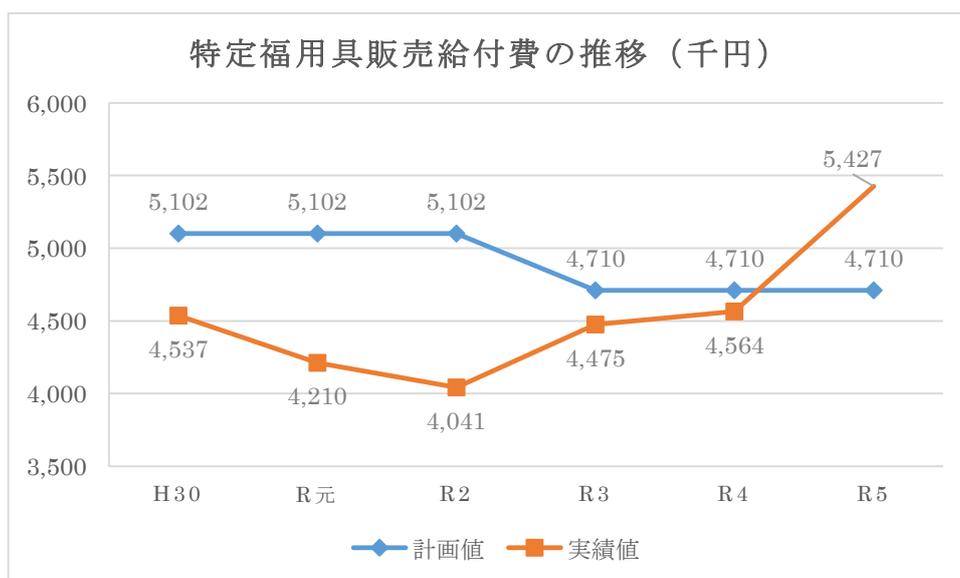
## 特定福祉用具販売受給者 1 人あたりの給付費の推移

	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
計画値 (円)	20,246	20,246	20,246	20,658	20,658	20,658
実績値 (円)	21,606	20,439	19,909	21,012	21,528	24,336
対計画比 (%)	107	101	98	102	104	118



## 特定福祉用具販売給付費の推移

	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
計画値 (円)	5,102,000	5,102,000	5,102,000	4,710,000	4,710,000	4,710,000
実績値 (円)	4,537,245	4,210,387	4,041,463	4,475,472	4,564,025	5,426,905
対計画比 (%)	89	83	79	95	97	115



**13** 短期入所療養介護（老健）

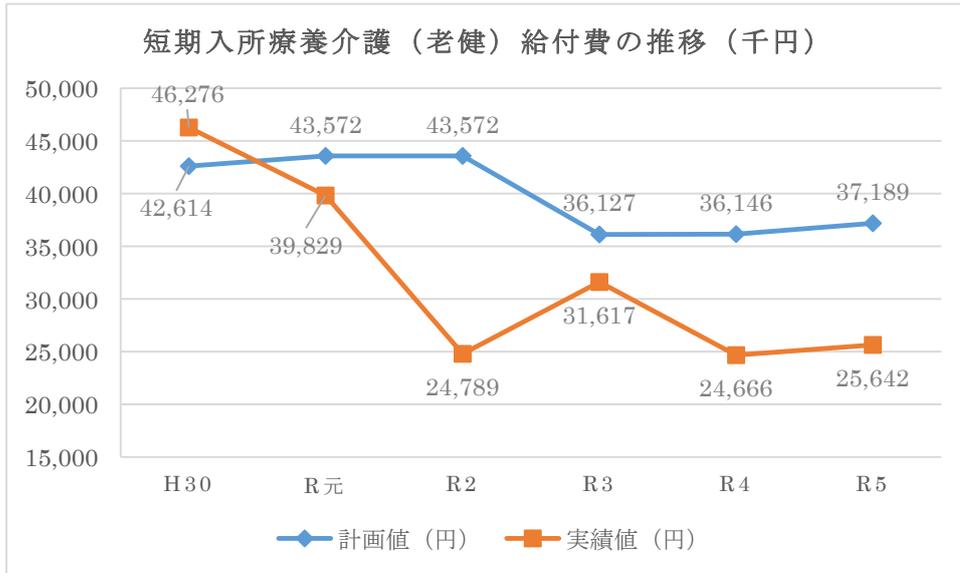
**オ. 給付費**

短期入所療養介護は、介護老人保健施設に短期間入所している要介護（要支援）者に対して、看護、医学的管理のもと介護、機能訓練、その他必要な医療や日常生活上の支援を行うサービスです。

介護老人保健施設の短期入所療養介護は空きベッド利用のため、介護老人保健施設の入所者と区画を分けることができず、短期入所生活介護より、さらに受入れが慎重になることが予想されます。また、介護老人保健施設で新型コロナウイルス感染症が発生すると受入れを一定期間休止せざるを得ないため、実績値が計画値を下回ったと考えられます。

**短期入所療養介護（老健）給付費の推移**

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値（円）	42,614,000	43,572,000	43,572,000	36,127,000	36,146,000	37,189,000
実績値（円）	46,275,625	39,829,398	24,789,081	31,617,146	24,665,531	25,642,481
対計画比（%）	109	91	57	88	68	69



また、空きベッド利用のため、介護老人保健施設のベッドが空いていることが条件です。介護老人保健施設の年間延べ利用者数や給付費の状況を見ると、対計画比が100%であり、そもそも利用可能な空きベッドが少ない可能性も考えられます。

#### 介護老人保健施設年間延べ利用者数の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値 (人)	4,692	4,692	4,692	4,548	4,548	4,548
実績値 (人)	4,703	4,665	4,514	4,363	4,423	4,554
対計画比 (%)	100	99	96	96	97	100

#### 介護老人保健施設給付費の推移

	H30	R元	R2	R3	R4	R5
計画値 (千円)	1,287,732	1,288,915	1,290,692	1,240,433	1,241,122	1,241,122
実績値 (千円)	1,313,854	1,234,215	1,222,471	1,168,940	1,190,076	1,240,740
対計画比 (%)	102	96	95	94	96	100

#### 【総括】

- 全体では総給付費の対計画比が90.8%と、大きな乖離ではありません。
- 施設・居住系・在宅サービス、すべてのサービスで計画値を下回っているのは、新型コロナウイルス感染症の影響があるものと考えられます。